

「楠田大蔵市長と語る会」(要点記録)

- 行政区 湯の谷西区

- 日時 令和元年 10 月 6 日 (日曜日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 9 分

- 出席者 (市民) 31 人 (当該区: 31 人 その他: 0 人)
(執行部) 10 人
市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、
健康福祉部長、都市整備部長、教育部長
(事務局) 4 人
経営企画課長、地域コミュニティ課長、広聴広報係長、広聴広報
係員

- 会議内容
 - 1 開会のことば 午後 1 時 30 分～

 - 2 自治会長あいさつ 午後 1 時 33 分～

 - 3 市政報告 午後 1 時 35 分～

 - 4 意見交換 (別紙) 午後 2 時 12 分～

 - 5 閉会のことば ～午後 3 時 9 分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見	<p>公民館の安全性の問題について。湯の谷西公民館は一次避難所になっているが、公民館の後ろは斜面である。また、通学路ともなっている。安全性と災害時の対応（避難基準の考え方や避難勧告の方法など）について、今後どのように考えているのか伺いたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>防災は市の大きな役割の1つです。現在、市全体の防災シミュレーションの作成を行っており、来年には市内で訓練を行う計画を立てております。災害の危険性は日々ありまして、他の地区でも「公民館が川沿いにあるが大丈夫か」などのご意見もいただきます。災害対策について、さらなる対応を行ってまいります。</p> <p>(総務部長)</p> <p>筑紫女学園大学は協定避難所ですので、避難の際には、筑紫女学園大学に避難所開設の依頼を行って利用させていただいています。今後の対応策につきましては、例えば一次避難所を筑紫女学園大学にする、ということなども踏まえて、湯の谷西区の役員の皆さんや学校側との協議を行って進めてまいりたいと思います。</p> <p>【後日回答：総務部】</p> <p>湯の谷西公民館の背後の斜面が急傾斜地で土砂災害警戒区域の指定基準になる状況であると、防災安全課に自治会長様から調査結果を提出いただきました。</p> <p>背後の斜面については、勾配がきつく、高さもあることから土砂災害警戒区域の基準を満たす可能性は高いと考えられます。土砂災害警戒区域指定は、福岡県が調査して指定しますが、指定までの流れのなかで他市町村の急傾斜を含めて指定しますので、かなり時間がかかります。</p> <p>10月になり、豪雨災害の危険性は低くなりましたが、来年の梅雨時期に向け、自治会と十分な検討をさせていただきたいと考えております。</p> <p>また、地震については、湯の谷西公民館</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>は、建築基準法上に耐震基準を満たしています。しかし、地震による被害が発生して建物の安全が確認されなければ、避難場所として使用できませんので、土砂崩れなど周囲の状況を含め避難場所として使用できるかの判断を行う必要があります。</p> <p>湯の谷西区内の避難情報の発令は、5段階の警戒レベルと合わせて土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に行います。気象警報や土壌雨量指数を判断要素として例えば警戒レベル3、避難準備・高齢者等避難開始など発令してまいります。なお、通学路が土砂災害警戒区域、特別警戒区域になっていますので、気象情報などについて教育委員会と情報共有しながら、通学の不可を判断してまいります。</p>
質問者2	意見	<p>(質問者1の意見に付け加えて)</p> <p>15年前から提起している問題であるが、その時から同じ回答である。一番危険な位置に公民館があるのに、毎回「検討します」という回答。</p> <p>筑紫女学園大学は近くにあるが、高齢者が登れる(坂の)傾斜ではない。最低限手すりを付けてもらわないと、避難できない。できればスロープなども。</p>	<p>【後日回答：総務部】</p> <p>湯の谷西区の土砂災害警戒区域内にお住まいの方に災害警戒レベル3以上避難準備、高齢者等避難開始などの避難情報を発令する場合は、筑紫女学園に避難者受け入れの要請を行い、すみやかに受け入れ態勢を整えることになっています。</p> <p>筑紫女学園大学へ避難される場合、避難経路の道のりが長くなり、大学入口付近に8%程度の坂があることは、認識しております。しかし、坂になっている部分は筑紫女学園大学の敷地になりますので、市での傾斜の改良は難しいと考えていますが、筑紫女学園大学と避難所の手続きを含めスロープについて協議してまいります。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
	意見 2	<p>防災無線について。「無線は万全ではない」との説明があったが、平常時でも大部分は聞こえていない。「情報弱者」という言葉があるが、登録しないと情報が来ないので意味がない。もっとわかりやすく情報が手に入らないのか。</p> <p>土砂災害警戒区域から戸別受信できるようにならないか。</p>	<p>【後日回答：総務部】</p> <p>防災無線については、避難情報などの情報伝達手段のひとつとして設置しています。しかし、家屋の構造や風、雨など気象状況の影響で、聞き取りにくいと指摘されています。</p> <p>市といたしましては、正確な情報を迅速に伝えるため、電話やファクスを通して情報を提供する災害時情報等伝達手段（V-ネット）を導入し、周知しています。</p> <p>また、電子メールが使える方には、福岡県の「防災メール・まもるくん」を紹介しています。</p> <p>いずれも登録が必要になりますが、正確な情報を入手できますので、普及を図っているところであり、登録していただきますようお願いいたします。</p> <p>また、自主防災組織を組織されていますので、その充実のための支援を図ってまいりますとともに、令和2年5月に予定しております全市的な訓練に向けて、各世帯に伝わるような実効的な方策を検討してまいります。</p>
質問者 3	意見	<p>交通安全について。九州国立博物館ができるときに公民館で説明会が開催された。「団地内が抜け道になってしまう」と訴えたが「実際にそうなるかわからないので、様子を見る」との回答だった。現在も回答はそのままになっており、学園通りは案の定抜け道となっている。通学路でもあり、多くの子どもたちが通るのに危険である。交通指導員を派遣しているようだが、人手不足のためか毎日立っているわけではない。</p> <p>行政として、対応を考えてもらいたい。</p>	<p>（市長）</p> <p>これまで、点滅信号などの何かしらの対策をとってまいりましたが、まだまだ工夫は出来ると思います。安全安心のまちづくりとして方策を考えたいので、少しお時間をいただければと思います。</p> <p>（都市整備部長）</p> <p>前回の「語る会」の中でもいただいたご意見であり、その際には市はもちろん、筑紫野警察署にも現場を確認してもらい指導をお願いしていた経緯があります。しかし、現在も変わっていないとのことですので、再度警察とも協議をし、対応を考えていき</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>ます。</p> <p>【後日回答】</p> <p>今回の市長と語る会終了後、スピード抑制のために、筑紫野警察署交通課あてに、朝の通勤時間に巡視・巡回をしてもらうように要望書を提出しております。</p> <p>また、子どもや市民の安全を守るためにも、ハンプ設置やカラーポールによる狭さく等を含めた様々な安全対策について、市内部にとどまらず国土交通省や県、筑紫野警察署と協議してまいります。</p>
質問者 4	意見	<p>学園通りについて、雨水工事のおかげで立派な道になったのはいいが、朝晩は車がすごく通る。子どももお年寄りも多い地域である。ハンプの設置は騒音があり、歩行者も通ることを考えると私は反対。</p>	<p>(市長)</p> <p>先ほどのご意見と関連したお話ですが、地域の切実な問題だと改めて認識しました。何らかの対応をとれるよう、協議致します。</p> <p>【後日回答】</p> <p>今回の市長と語る会終了後、スピード抑制のために、筑紫野警察署交通課あてに、朝の通勤時間に巡視・巡回をしてもらうように要望書を提出しております。</p> <p>また、子どもや市民の安全を守るためにも、ハンプ設置やカラーポールによる狭さく等を含めた様々な安全対策について、市内部にとどまらず国土交通省や県、筑紫野警察署と協議してまいります。</p>
質問者 5	意見 1	<p>秋山の一番つきあたりに 30 軒近くの宅地が造成されているが、そこへの進入道路が 1 カ所しかない。一刻を争う救急車両の通行時などは大変不便ではないか。また、その進入路の一部は崖になっている。たった 1 本の道路ががけ崩れなどで不通になったらどうするのか。</p> <p>現在、予定になかった道路を宅地の開発業者が作ってくれたが、車止めがしてあり通れない。先が細いので通りにくいとは思</p>	<p>(市長)</p> <p>交通・災害の不安について、改めて重要だと認識致しました。どうしたら実行できるか、どう協力関係を密接にするかなど、具体的に考えたいと思います。また、それを災害訓練などにもつなげてまいります。出来るだけ早くお答え致します。</p> <p>(都市整備部長)</p> <p>ご指摘ありがとうございます。県が開発の</p>

		質問・意見等	区に対する回答
		が、拡幅してほしい。	許可者になっており、市からも県に指導をお願い致しました。しかし、ご意見を聞くと、改善されていないようです。もう一度状況を確認いたしますし、地元のご意見等を出しながら依頼も行ってまいります。
	意見 2	<p>住宅開発に伴い、工事車両が早朝にもものすごいスピードで入ってくる。業者が頻繁に変わるのか、指導が徹底されていない。工事車両への指導および作業時間の是正をお願いしたい。</p> <p>(別の方からの補足)</p> <p>6月の時点で、都市計画課から県へ指導して欲しい旨お願いしてもらったが改善が見られない。もう一度お願いできたらと思う。</p>	<p>また、今回の開発後にその北側も開発をされると聞いていますので、その際に道路をつなぐことを考えて協議を行いたいと思います。</p> <p>市としても始業時間については最初をお願いしていると聞いています。再度、地域の安全について開発業者に依頼できることはしていきたいと思っています。</p> <p>【後日回答】</p> <p>宅地への進入道路の整備につきましては、進入道路が狭あいのため現状としては難しいと判断しております。</p> <p>工事車両への指導や作業時間の是正に関しましては、安全確保・騒音防止に関し、再度、建築業者へ協力要請をしています。</p>
質問者 6	意見	<p>都市計画道（銚ノ浦・渡内線）の開発を止めたことが疑問。都市計画審議会の議事録を見ると、「将来的に交通量は減ると考えられる」と書いてあったが全く矛盾している。今学園通りの交通量はどれだけ増えている？</p> <p>用途地域変更に関する説明もなかった。きちんと説明をしてほしい。都市計画課に直接伺ったら「公示をした」と言われたが、どうして1軒1軒に説明しないのか。実情をきちんと見据え、現場を見て、どう対応するかを考えるという都市計画の基本を守ってほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>経過についてしっかり調査し、報告と今後のあり方についてお答えしたいと思います。太宰府市は住宅が密集している地域が多くあります。それにどう対応するかが市としての課題だと考えています。</p> <p>【後日回答：都市整備部】</p> <p>平成25年3月15日に都市計画道路「五条銚ノ浦線」の廃止とともにその周辺の用途地域変更の都市計画決定の告示を行っております。用途変更に係る説明会を平成24年3月16日から18日の間に3回実施し、変更案の事前閲覧を平成24年10月16日から10月30日に行いました。公聴会については平成24年11月12日に予定してお</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>りましたが、公述申出者がおられなかったので中止いたしました。その後都市計画審議会に諮り、県との協議を経て計画決定の告示を行ったところです。なお、説明会の開催や変更案の事前閲覧等について、この間に広報だざいふに2回掲載し、周知を図っております。</p> <p>用途地域の変更理由については、都市計画道路の廃止に伴い、その周辺における用途地域の再検討が必要となり、隣接する地域と一体的な土地利用を図る必要があるため、用途地域の境界を地形地物により変更を行ったものです。</p>
質問者 7	意見	<p>道路整備の話。前向きに話が進んだとした場合、五条や秋山の子どもたちは新しくできる道路を通ったほうが安全で学校まで近いと思う。</p>	<p>(市長)</p> <p>今のご意見も踏まえまして、考えたいと思います。</p> <p>【後日回答】</p> <p>宅地への進入道路の整備につきましては、進入道路が狭あいのため現状としては難しいと判断しております。</p>
質問者 8	意見	<p>教育について、中学校給食の早期実現を。施政方針の中で「できるだけ早く」となっているが、いつ実現できるのか全く分からない。ぜひ任期中にはお願いしたい。私の子どもはもう30代だが、子どもが小学生のころからずっと要望していることである。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。いかに財源を捻出するかがカギとなってまいります。太宰府市は収入が少なく、これまで行ってきた事業を中止するとなると不満も出てくると思いますし、歳出カットとなるとよほどしっかり説明を果たさなければ難しいです。そうした中で、初期投資や給食の実施方法によっても皆さんのご負担も変わりますので、どういう方法が良いのかは検討中です。いずれにせよ「任期中に一定の方向性を出す」ことには変わりありません。財源を確保できるよう、引き続き努めてまいります。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 9	意見	<p>行政の仕事について勉強している。太宰府市は町役場のままであると感じられるし、議会を傍聴してもそう思った。</p> <p>今回の語る会で出た意見は、前の市長、その前の市長の時にも出たものばかり。その時の質問を見てきたか？勉強して来たか？春日市は、前回の指摘事項はちゃんと答えてきている。</p> <p>市長がよどみなく話すから「ちゃんとやっている」と思いがちだが、実際は違う。市民意識調査の結果を見ても、2点以下の項目がいくつあるか？</p> <p>給食についての会議も、1度も開催されていないと聞いた。</p> <p>仕事をしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>私は村役場とは思っていません。前述のとおり、クラウドファンディングやふるさと納税、人事交流などの先進的な取り組みも行ってきています。その中でコストを減らし、政策効果を高めようと努力しておりますが、なお十数億円不足しているところから予算がスタートします。そのような限られた条件の中で知恵を絞りながら職員も頑張っています。</p> <p>給食の会議について、1回も開催されなかったというのは事実ではありません。少なくとも会議はすでに5回開催していますし、その中で新たな研究材料も出てきました。</p> <p>道路の整備も取り組みたいし、給食も実現したい、学校も建て替えたい。しかし現時点で本市に余力はありません。各事業、優先順位を立てて実行していかねばなりません。お気持ちは分かりますが、ご理解いただきたいです。</p> <p>現在全国史跡整備市町村協議会に参加しておりますが、史跡地を財力を生むものに変えたい、弱みを強みにしたいと考えております。そのために日夜取り組んでいます。持てる力はすべて出し尽くして、今後も取り組んでまいります。</p>